

学校共催 ウォークラリー

〈令和6年9月26日(木)〉

【目的】

学校では体験することが難しい学習プログラムを企画・提案し、児童・生徒に多様な学習機会を提供するとともに、野外活動センターの新規体験プログラムの開発を目的として実施する。

【共催】

広島市立長束小学校 5年生 72人

【プログラム内容】

13:00 競技説明 13:30 ウォークラリー 15:15 ふりかえり

「競技説明」



ウォークラリーのルールやグループで大切にしてほしいことを確認しました。スタートの掛け声は、班ごとに決めました。

「ウォークラリー」



コマ地図を見ながら、ルートを選択しました。チェックポイントの問題を解きながら、ゴールを目指しました。チェックポイントは、センターが準備した問題と学校独自の問題を組み合わせました。

「ふりかえり」



チェックポイントの答えを確認しました。また、どんな場面で班の協力が求められたのかについて補足説明をしました。

子どもたちの様子

- ▷チェックポイントを通過する際に、班のメンバーで意見交換をしたり、自分たちの意見をすり合わせたりして意思決定をしていました。
- ▷ゴールの際に時間得点60分の時間を考え、すぐにゴールしないで考える班やCPの漢字の問題をじっくりみんなで考えるなど、時間の得点を意識している班をたくさん見ることができました。
- ▷CPの問題には、先生に関する問題や記述だけでなく、「やっほ〇班」と校長先生に向かって言い合格をもらう問題や笑顔でゴールする問題等があり、子どもたちの楽しい顔をたくさん見ることができました。
- ▷答え合わせをする際、「やったー」とか、「あ、そうだったのか」等振り返りもみんなと楽しい時間を過ごすことができました。